

# 地方議員研究会セミナー ～財政問題の基礎～

令和7年11月18日

貝塚市議会議長

阪口 芳弘 様

参加者

南野 敬介

## 【1】はじめに



令和7年11月6日、函館市若松町7-15 函館商工会議所に到着。  
講師は、地方議員研究会事務局長の杉本康介氏が務められました。

セミナーは11月6日～7日に開催されました。

今回の研修会には、谷口美保子議員、堺谷裕議員とともに出席させていただきました。

## 【2】財政問題の基礎①

以下の項目に沿いながらご説明いただきました。

### ◆議員が最低限知っておくべきこと

- 財政のルール
- 自分の街の財政の状態
- 一般財源と特定財源
- 地方財政制度の仕組み
- 自分の街の職員から聞かずに客観的に把握する方法
- 破綻するのか、財政は悪いのか否か

### ◆自治体財政のルール

- 赤字にならないこと
- 自治体のお金の使い方は自由
- 財政健全化や指標は数値であり、目的ではない

### ◆せっかく決算カードを見るなら





- 自分の街の貯金はいくらあるのか？
- 収入の構造は？税制と交付税の金額
- 税金が自分の街だけ高い？
- 超過税率の状況を見てみよう
- 収支は大丈夫？実質収支と実質単年度収支
- 規模感から考える貯金の多さ少なさ
- 徴収率は大丈夫なのか

- ◆貯金の取り崩しを毎年続けていると枯渇する
- そもそもの財政運営は、収入の範囲で収支を組むこと
- 基本的に経常経費の多さの問題

- どれから削減していくのか
- 無駄な事業の廃止や前例踏襲の予算の見直し
- ダイエットの開始と同じ。コツコツやるのか、一気にやるのか
- 議会は財政のことを本当に理解しているのか
- 報道で知ってびっくりしている場合ではない

- ◆疑問点や問題点の洗い出し
- 予算の着眼点
- 義務的経費か否か
- 予算編成方針と合致しているか
- 住民の要望は多いのか
- 事業の財源はどうなっているのか？
- 積算根拠はどうなっているのか？
- 事前に議会側に説明があった内容と合致しているのか

- ◆収入を増やすのも大事だが、支出を減らす効果が絶大
- 交付税制度があるので、基本的には歳出削減が必須
- 将来の人口が減るのであれば、その時の役所の体制はどうするのか
- 全国共通の公共施設問題
- ODX はデジタル化ではなくて、仕事の仕方の改革
- 公務員は比較にめっぽう弱い、比較のデータは今のネットに無数にある
- 議会からの提言で、行政の中の人としての後押しを外から見ている機関ではない

### 【3】財政問題の基礎②

◆財政の制度の基礎を踏まえ他の自治体（類似団体）としっかり比較することが大切である：財政は比較することで理解が深まる

◆財政状況類似団体比較カードを読み込む

◆財政状況資料集 ☆総括表（市町村）のすべて

○公営企業会計等の財政状況

○地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

○市町村財政比較分析表（普通会計決算）

全ての表を読み込み市の現在の財政状態を知る



◆決算審査と行政評価（事務事業評価）

○決算審査では成果を聞く

○行政評価があれば中身を確認する

○監査意見書にはできれば3年分に目を通す

○決算で成果が出ていないと指摘した事業の新年度の予算をチェックし、予算にしっかりと反映させる

○数字の確認のような質疑からは卒業し成果の確認をする

◆予算審議と決算審議の連動へ

○東広島市議会の事例

予算審議の際には事務事業シートを使った後に、そのまま決算の欄を埋めて決算議会に使用している、事業ごとにわかりやすい

○可児市議会では議会から、決算審査後に翌年度の事業に関して提言を出している

◆人口減少時代の財政知識

これから人口がさらに減少する、持続可能な財政運営にするか否かは議会によって異なる、どんな役所、どんな地域を目指すのかを国の方向性を見据えて今から準備をすべきである

#### 【4】総じて・・・

私自身改めて財政を考える契機となったと思います。改めて貝塚市の事例を参考にお話をいただいたことは非常に参考になりました。今後、財政を見ながら貝塚市民が有益となるよう取り組むように進めたいと思います。

